

NPO 法人ハートリンクワーキングプロジェクトを立ち上げました（厚生労働省科学研究事業）

ハートリンクの7年余りの活動の中成長した小児がん経験者やそのご家族から就職できないという声が多く聞かれるようになりました。私達はその声を基に、晩期合併症のある小児がん経験者の就労問題は国を挙げて取り組まなければならない問題だと考えます。

平成23年10月にスタートいたしましたNPO法人ハートリンクワーキングプロジェクトは、平成25年4月1日より小児がん経験者の就労を支援する「ハートリンク喫茶」を新潟市にオープンいたします。

会社案内を作成し、10月1日、ハローワークを通じて求人募集し、11月中旬、合同面接を行い6名（男性2名・女性4名）の小児がん経験者の採用が決定いたしました。

この新潟県で始まる小児がん経験者への就労支援プロジェクトが全国に広がっていくためにも、皆様の温かいご支援ご協力を宜しくお願いいたします。



就労実態調査アンケートについて

平成24年8月実施いたしました「小児がん経験者の自立・就労実態調査アンケート」では会員の皆様からたくさん質問にご回答いただき、また、様々な声をお聞かせいただき本当にありがとうございました。

集計結果につきましては既に解析が終了し、12月22日聖路加国際病院で開催されます厚生労働省科学研究(がん臨床研究)推進事業の公開シンポジウムで報告させていただきます。

240名（男性123名 女性116名 未回答1名）の方がアンケートにご回答くださいました。ご協力くださいました皆様に感謝申しあげると共に、今後、晩期合併症のある小児がん経験者の就労の拡大と、国への法整備の要望に使わせて頂きます。

又、詳細につきましては次のハートリンク通信にて掲載させていただきます。

厚生労働省科学研究（がん臨床研究）推進事業 公開シンポジウムのご案内

主催：厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業 小澤班（聖路加国際病院 小澤美和）

共催：公益財団法人日本対がん協会

日時：2012年12月22日（土）AM10:00～PM3:00

会場：聖路加国際病院 本館2階トリスラーホール

参加無料 *お子様の参加は可能です。 *託児所はありません。

《プログラム》

第1部 AM10:00～12:15 がん患者の子どもへの支援

座長：山内英子（聖路加国際病院 乳腺外科部長） 茶園美香（慶應義塾大学 看護医療学部准教授）

1. 小澤 美和 聖路加国際病院 小児科医長 親ががんになった子どもの心
2. 小林真理子 放送大学大学院臨床心理学プログラム准教授 がん患者の子どもへのサポートプログラム日本版の開発
3. 稲田美和子 自治医科大学附属病院 臨床心理士 大学病院におけるがん患者の子どもへのサポートグループプログラム日本版の実践
4. 白石 恵子 九州がんセンター臨床心理士 がんを患う親を持つ子どもへの支援に対する医療者の苦悩と対策
5. 井上 実穂 四国がんセンター臨床心理士 親をがんで亡くす子どもの臨終前後のケア
6. 高井新太郎 NPO法人AIMS 代表理事 親をがんで亡くす子どものためにできる事
7. 増田 志穂 HopeTree 図書館司書 がん患者とその子供を結ぶ絵本の力

第2部 PM1:00～3:00 小児がん経験者の自立・就労支援

座長：真部 淳（聖路加国際病院小児科医長） 近藤博子（公益財団法人がんの子どもを守る会 理事）

1. 石田也寸志 聖ルカライフサイエンス研究所副センター長 小児がん経験者の自立・就労実態調査と支援システムの構築、情報発信
2. 横川めぐみ 公益財団法人がんの子どもを守る会医療ソーシャルワーカー 小児がん経験者就労者のインタビューから見えてくるもの
3. 林 三枝 NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト副理事長 小児がん経験者のためのワーキングサポートモデルの提案
4. 上村武史 うきはスマイルファーム代表 小児がん経験者のための『実習型雇用支援事業』の実践
5. 桜井なおみ NPO法人HOPEプロジェクト理事長 自立をめざす小児がん経験者へのメッセージ
6. 西田千佳子 聖路加国際病院コメディカル部長 小児がん経験者への法的支援の可能性

皆様のご来場をお待ちしております